

SCPLANのご紹介

株式会社 日立製作所 産業・流通ビジネスユニット エンタープライズソリューション事業部 モビリティ&マニュファクチャリング本部 TSCMソリューションセンタ

1. 日本の製造業を取り巻く環境と対応



市場環境の変化

- •短納期要求
- -需要変動幅の増大
- •受注生産

・ユニット納入

- •生産同期納入
- ・海外生産へ移行
- ・系列外取引の拡大 etc.



生産管理への影響

- ・意思決定時間の短縮・
- ・計画見直しサイクルの短縮・仕様の多様化・部品数の増加
- ・生産効率とJITの両天秤・グローバル需給体制
- ・受発注形態の多様化 etc.



SCPLANを用いて

- ・ 先手管理による在庫削減
- •状況の可視化による有効な対策の実施
- •実行可能な納期回答による納期遵守率向上
- ・中長期計画における負荷平準化(外注政策を含む)



2. 生産計画強化の導入事例



効果

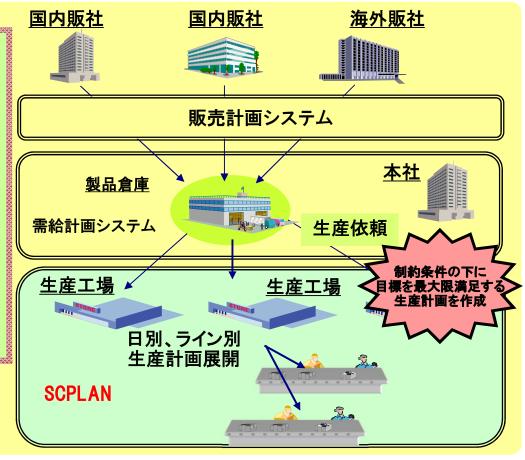
- ◆連結在庫削減
- ◆計画リードタイム短縮
- ◆計画立案の短周期化

ポイント

- ◆主要制約を考慮した納期優先の生産計画
- ◆計画精度、安定性向上
- ◆計画の多頻度化(複数回/日)

システム概要

- ◆主要制約を考慮した納期優先の生産計画
 - →需給計画システムから週次の生産依頼を取得し ラインの能力制約や代替工程、製品の優先度を 考慮して計画担当者別の生産計画を出力。 連続平準、台数均等、ショップ優先、小ロット優先。
 - →調整が必要な場合は、納期を満たすための対策を シミュレーション。
- ◆計画精度、安定性向上
 - →出荷、生産、発注の各計画を連動 (ブルウィップ抑制)。
 - →同じデータなら、同じ結果を出力。
 - →計画担当者に共通のマスタ計画を準備。
- ◆計画の多頻度化
 - →計画担当者ごとに何度も計画立案
 - →最適な生産計画として確定し、供給回答。
 - →需要変動に応じて先々の能力(人員)計画を変更。
- ・在庫削減により需要動向をすばやく反映
- ・計画業務の簡素化、スピード化により戦略的 業務ヘリソースをシフト



3. 調達計画強化の導入事例



効果

- ◆製品在庫削減
- ◆計画リードタイム短縮
- ◆納期回答即時化
- ◆供給リードタイム短縮
- ◆計画立案の短周期化
- ◆レンタル倉庫撤廃

ポイント

- ◆需要変動を反映した高速計画
- ◆設計変更、支給品を考慮した調達計画の自動調整
- ◆問題点の迅速な把握と対策アクションの提示

システム概要

- ◆需要変動を反映した高速計画 →必要時に即時シミュレーション。
- ◆設計変更、支給品を考慮した 調達計画の自動調整
- →期間、号機、MPS指定、基準日、 ランニングチェンジ
- →生産計画変更の影響を受ける 部材を把握



お客さまからの要求

- ・特急注文(追加注文、数量増加)
- ・納期変更(前倒し・後ろ倒し要求)

サプライヤーからの要望

- ・リスク対応(設備故障、ロット不良)
- ・納期変更(後ろ倒しや分割納入)

できる迅速な納期 回答/リスク対応



きめ細かな要求への柔軟な対応による日本型SCMの実現

基幹システム



シミュレーション

結果の反映

部材調達連携

データ出力

- ■フォーキャスト情報
- •予約注文情報

·確定注文情報 ·消費予定情報

調達コラボ レーションとの ・ムレスな連携 短時間で対策



- ビジュアルユーザインターフェース
- 全体から細部へのドリルダウン
- •フルペギング※で問題把握が容易
- アクセル ... お客さま要求への対応
- 注残前倒し •生産能力変更
- •工完日提示 ...

意思決定を ブレーキ ... 適正な資産管理 支援する高速

・余剰部材検出・注残後ろ倒し •注残取消し •逆展開消費 ...



※ フルペギング…受注・生産計画とMRP展開結果のひも付け

4. ERP強化の導入事例



効果

- ◆計画コスト削減
- ◆納期回答即時化
- ◆計画立案の短周期化

ポイント

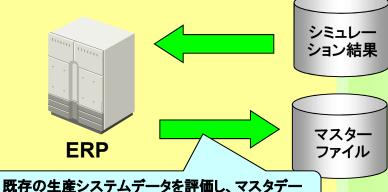
- ◆需要変動を反映した高速MRP※
- ◆生産計画の実行性チェック
- ◆何度でも計画変更シミュレーション
- ◆実行可能計画のみERP※へ反映

システム概要

- ◆需給調整シミュレーションにより、生産計画 の実行性を事前にチェック
 - →生産計画の調整
 - →部材調達の調整

タの精度も向上。

◆調整結果はERPに戻し、実行する



MRP ··· Materials Requirements Planning ERP ··· Enterprise Resource Planning

5. 需給調整強化の導入事例



効果

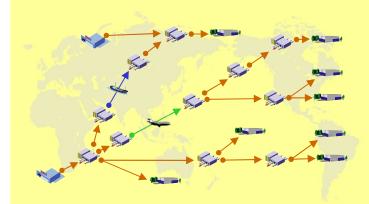
- ◆納期遵守率向上
- ◆製品在庫削減
- ◆計画立案の短周期化

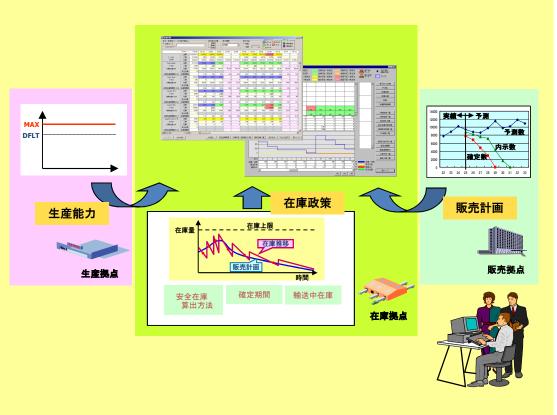
ポイント

- ◆需要変動を反映した高速MRP
- ◆供給計画の実行性チェック
- ◆供給条件を変更しシミュレーション

システム概要

- ◆需給調整シミュレーションにより、供給計画 の実行性を事前にチェック
 - →供給時期の調整
 - →安全在庫水準の調整
 - →生産計画の調整
- ◆調整結果を基に納期回答





6. 負荷調整強化の導入事例



効果

- ◆生産効率向上
- ◆納期遵守率向上
- ◆中長期の生産体制確立

ポイント

- ◆MRPベースの負荷山積み/山崩し
- ◆生産能力の過不足を時期・量で把握
- ◆全工程を連動させた負荷調整
- ◆別拠点(外注)も考慮対象

システム概要

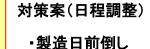
- ◆負荷山積み/山崩しシミュレーションにより、 生産計画の実行性を事前にチェック
 - →負荷の平準化
 - →作業人員(外注)計画の作成
- ◆外注依頼、長納期部材発注

対策案(製造能力増強)

時間

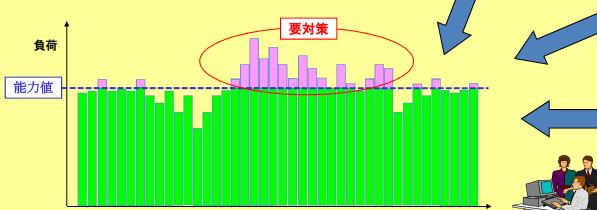
- •残業
- •休出
- •作業者増員

etc.



- ・製造日後ろ倒し(=納期調整)
- -不急計画削除

etc.



対策案(代替設備)

- ・別ラインへ生産移管
- ・別工場へ生産移管
- ・外注へ生産委託

etc.

HITACHI Inspire the Next